

# 2年目を迎えた「大森山アートプロジェクト」

企画広報担当 副参事 吉田 淳一

大森山動物園(以下、動物園)と秋田公立美術大学(以下、美大)による「大森山アートプロジェクト」(以下、アートプロジェクト)が2年目を迎えました。

2019年度のアートプロジェクトは、前年同様に美大生のアイデアによる作品(写真1)のほか、彫刻作家でもある美大教員・皆川嘉博先生の作品(写真2)も加わり見応えが増したほか、これまで美大生・同大附属高等学院生により行われてきた壁画制作に来園者にも参加してもらい、動物園での楽しい思い出を残すことができました(写真3)。

また、動物園と隣接する大森山公園彫刻の森では、彫刻作品の清掃や再生の活動(写真4)が行われたほか、新たに杉木立と自然素材を活用した「あそび×まなびのひろば 杉迷路」(写真5)も開催されました。

また、ワークショップ「Zoo de 工作」(写真6)の他、新企画として色をテーマとした尾登誠一教授のトークイベント(写真7)は、動物園を飛び出して地元の新屋地域や中心市街地の秋田駅周辺でも開催されました。

今後もアートと動物によるコラボレーションの可能性を広げ、来園者だけでなく、多くの人に動物園を楽しんでもらえるプロジェクトを目指していきます。



写真1: 作品「親子で学ぶ大森山動物園」



写真2: 作品「リヒト(Licht)」



写真3: 壁画「HEART-FULL」の制作



写真4: 彫刻作品「海」の塗装



写真5: あそび×まなびのひろば 杉迷路



写真6: Zoo de 工作



写真7: トークイベント「色をたのしむ」